

コミスクだより みやこだ



浜松市立都田小学校 令和4年12月発行 No.3

第3回学校運営協議会が12月13日に本校会議室で行われました。
授業参観の後、学校評価の結果と今後の取り組みについて学校側より説明があり
2つのグループに分かれて協議が行われました。

桐生委員のグループの意見

- ・コロナの緊張が緩んで授業も活性化している。
- ・下敷きを敷いたままコンパスを使用していた。道具操作の基本は物事を合理的に進めるためには大事。
- ・姿勢の保持がなかなか難しい。姿勢の指導がされなくなってきている。
- ・悪い姿勢で話をすることが、人に影響を与えることを伝えることも必要。
- ・子どもたちを主体的に活性化しその能力を引き出すには、先生のリーダーシップとファシリテーション力が求められる時代になっている。
- ・「自分の考えを大きな声で伝えることができる」は必ずしも大きな声で伝えることは必要ではない。自分の考えを持つことが大事。自分の考えをどこでどんな時に伝え、自分の考えを伝えることはどういうことかを子どもたちに具体的な意味を持たせたい。
- ・自分の長所と課題がわかることは主体性につながる。子どもたちが目標を設定しない限り、イメージは持てない。子どもたちが主体性を持ち自分がこうなりたいという考えを持つことは、教師の問う力で解決になる。

影山委員のグループの意見

- ・子どもたちが明るく自由に育っている。
- ・タブレットを上手に使っている。
- ・先生が子どもたちと一緒に授業に参加している中で、先生の存在感が子どもに交じって薄く感じた。先生がタブレット写真を撮っていて別の子どもたちがほったらかしになっている場面があった。そのような点は軌道修正が必要。
- ・コンパスを使うとき、下敷きを敷いたまま使っている。下敷きを抜いて円のスタートは7時の方向から回すとよい。
- ・改善策では、家庭を巻き込んだ家庭学習にしていくとある。家庭学習は宿題だけでなく自分のための学習として位置づけるのはレベルが高すぎる。

議題・議事録などの詳しい内容は本校HPに掲載してありますので、是非御覧ください。

次回の協議会は、令和5年2月17日（金）本校会議室で行います。